

地島山笠の学習

まだ暑さに慣れていない体にとっては、暑い暑い1週間でした。休み時間ごとに水分を補給し、本格的な暑さにそなえています。

玄海学園あいさつ運動 6月21日～25日



小中一貫教育玄海学園では、子供達の社会性を育むために、あいさつ運動を行っています。

今年度、第1回目のあいさつ運動を実施しました。他校では、子供たちが通学路で地域の方にあいさつをしたり、校門前に並び、登校してくる児童・生徒にあいさつをしたりするのですが、地島小は違います。保護者やなごさの関係者の方、地域の方、教師が、学校の前で、登校してくる子供たちを迎えます。登校した子供たちは、「おはようございます」と、出迎えた人たちと肘タッチをして正門を歩いていきます。

この3ヶ月で、子供たちは、相手の顔を見て、笑顔で、そして大きな声で、あいさつをかわすことができるようになってきました。また、登下校中、出会った島のみなさんにも、「こんにちは」と大きな声であいさつをします。島のみなさんからも、あいさつが返ってきます。あいさつをきっかけに、会話がはずむときもあります。あいさつは、子供たちや島のみなさんのつながりの第一歩になっています。



子供たちが、自分たちができることを話し合う様子



助言していただいた地島の村田さん 橋本さん 田中さん(左から)

6月21日(月)玄海学園の授業実践交流会を行いました。授業実践交流会は、玄海学園の1中学校3小学校の教師が、実際の授業を通して学び合う研究会です。今回は地島小学校が授業を公開しました。(コロナ禍のため、他校から2名の先生が来校し、他の先生方は、それぞれの学校でオンラインで授業を参観しました。)

公開した4年～6年の総合的な学習の時間「地島山笠」では、島の人にとって大切な「地島山笠」がコロナのために中止になったことに思いをよせて、自分たちができることを考えました。

子供たちが話し合いながら、自分たちができることを決定していく姿は、参観された先生方からも、ほめていただきました。子供たちは、今、「地島山笠」の劇をつくり、島の人に見てもらう準備をしています。



目標に向かって

プールサイドに貼った個人の目標



- 1年 よしだりく かおをみずにつける。
- 4年 竹内七海 息つきとドル平10m
- 4年 松延碧 個人メドレーをすらすらとクロール50mを50秒以内
- 4年 磯野楓 ドル平を25m
- 5年 河野愛海 息つき
- 5年 橋本千紘 ドル平25m 平泳ぎ15m
- 6年 江越百花 自由形50m 平泳ぎ25m

7人の目標が並びました。ほかの人との競争ではありません。今の自分の実力をもとに自分で考えた「夏休みまでに～ができるようになる!」という目標です。だから、投げ出すことはできません。友達の応援を受けながら、くり返しくり返し、自分への挑戦を続けていきます。

水泳の学習では、タブレットを使って泳ぐ姿を教師が動画で撮影し、それを自ら振り返ることで、より良い泳ぎ方を追究する学習を行っています。自分では動かしているつもりの手や足が、実際はそうではないということに気づき、「もっと～したらいい」とさらに工夫を重ねることにつながっています。



GIGAスクールNews



1年生の国語では、インターネットを使って、鳥を調べ、その体の一部分を印刷したものを示し、何の鳥かを答えてもらうクイズをつくりました。

